

令和3年度 看護部教育研修計画

教育目的

☆病院・看護部の理念に基づき、地域に根ざした質の高い看護を提供できる看護師を育成する。
 ☆看護師個々が目標を持ち、事故課題を認識し取り組むことができる。

教育目標

☆地域看護、高齢者看護の知識・技術の向上を図る。
 ☆エビデンスに基づいた看護を実践できる能力を養う。
 ☆主体的に学習でき、学習意欲を持つことができる。
 ☆専門職業人として自覚を持ち、ひとりひとりが責任ある行動をとることができる。

対象者	研修	目的	目標	研修名	
卒業研修 (ラダー別)	ステップ1 新人	日常生活援助、診療の補助に関する基礎的知識・技術・態度を学び看護実践できる 社会人・専門職業人として行動できる	<ul style="list-style-type: none"> 職場に慣れることができる 正確な知識技術を身につけることができる 指導のもと安全な患者ケアができる 基本的な看護過程の展開が展開できケースレポートをまとめられる 	仲間、VS、更衣、認知症 ポンプ、酸素吸引、採血注射 麻薬管理 身体抑制 夜勤シミュレーション(報連相) 救急看護(BLS) 記録、情報アセスメント 夜勤シミュ(多重課題) 呼吸器看護 看護過程(事例展開)リフレクション	
	ステップ2~3	卒2	看護過程を用いて個別的看護展開ができる 看護過程の振り返りから今後の目標を持つことができる	<ul style="list-style-type: none"> 受け持ち患者の全体像から問題点をあげ、計画立案、実施、評価の過程を実践できる。 看護理論を理解し、ケースレポートをまとめることができる 	①導入 ②リフレクション1回目 ③リフレクション2回目
		リーダー	看護チームでリーダーシップを学び、役割を果たすことができる	<ul style="list-style-type: none"> リーダーとしての役割がわかり、自覚を持つことができる チームカアップのカギがわかる 	導入 リフレクション
		そろプリ	プリセプターの基本姿勢と役割を理解できる	<ul style="list-style-type: none"> プリセプターの役割が分かる 指導のコツがわかる 	
		次年度プリ	新人教育計画と指導・評価ツールの使い方を理解する	<ul style="list-style-type: none"> 研修展開方法と指導評価ツールの使用方法がわかる 	
		プリセプター	プリセプターシップが理解でき、役割を果たすことができる	<ul style="list-style-type: none"> プリセプターの役割がわかり指導できる プリセプター活動の現状を把握し、改善策を検討し、次年度に引き継ぐことができる 	メンタルサポート① メンタルサポート② メンタルサポート③
		研究計画書	看護研究の一連の過程を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> 研究的視点を持って問題に取り組む 文献検索等を学び、研究計画書が作成できる 	発表
	ステップ1~3	ミニレクチャー	頻度の少ない技術を自ら学び、レクチャーすることで身につけることができる メンバー間のコミュニケーションを深める場となる	<ul style="list-style-type: none"> 経験頻度が少ない技術をシミュレーションすることで自信を持つことができる スタッフにレクチャーし、意見交換できる 	挿管介助
	ステップ4	スキルⅢ主任	経験を活かし看護師として役割モデルとなることができる	<ul style="list-style-type: none"> 自分自身を知り、役割を見出すことができる 	
	看護補助者	看護補助者	患者の身の回りの世話が指示のもとできる 看護チームの一員としての認識を持ち行動できる	<ul style="list-style-type: none"> 安全安楽を守る方法がわかる ・患者サービス、接遇を学ぶ 看護助手としての業務内容、範囲がわかる 高齢者や家族の理解ができる 	
全体	全員	臨床指導	学生指導へと不安軽減と指導ツールを理解する	<ul style="list-style-type: none"> 臨床指導における指導者の役割がわかる 学生への理解を深めることができる 	心構え学習会
		救急	緊急時、安全、正確、迅速に判断し行動できる	<ul style="list-style-type: none"> シミュレーションすることで、緊急時の対応に自信を持つことができる 	BLS (挿管介助) シミュレーション
		看護倫理	看護倫理について理解する	<ul style="list-style-type: none"> 日常の中での倫理問題に気づくことが出来る 倫理問題を話し合い、自己を振り返ることが出来る 	